



2002年  
こっからの歴史が  
始まりました



理事長コラム  
こぶしの会関係の  
“なまえ”について

日中活動 とうふ工房  
とうふ工房  
USJへ行く!

就労移行支援 すたあと  
新春の夢



10周年記念企画 イベント情報

マツケンズ  
スープ  
の世界

居宅支援  
ふゆーちゃー

きょうされん  
第34次国会請願署名  
募金運動へのご協力をお願い



こっからの商品が買えるお店

奈良教育大学  
生活協同組合

仲間自治会  
なかまのちから

ニュース・フラッシュ

編集後記

# Column

## こぶしの会関係の“なまえ”について

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤井 正紀

今年2011年は、こっからの10周年記念の年であり、4月から約一年間にわたりいろんな記念行事を計画しています。10年間の苦労を慰労し、さらに今後の10年や20年を確かなものにしていきたいと考えています。

こぶしの会には現在七つの事業所があり、生活介護、就労移行、就労継続などの日中活動の場、ケアホーム、ヘルパー派遣、相談活動、日中一時支援など、生活の支援や援助などを行っています。これらにはそれぞれ名前がついています。〈こぶしの会〉〈コミティワークこっから〉〈ひまわり〉〈ぐうぐうハウス〉〈ふゅーちゃー〉〈すたあと〉〈かたつむり〉等となります。今回これらの名前について少しお話をしておこうと思います。

まず法人の〈こぶしの会〉ですが、この名前は法人設立のずっと前から使っていました。以前には〈かすが〉〈のぞみの家〉という二つの共同作業所を運営していたのですが、この運営主体の名前が〈こぶしの会〉です。この名前は、当時かすが共同作業所の所長であった桑山大祐氏が命名されました。桑山氏の話によると、「こぶしの花は春の季節の最初に咲く花で、苦しい運営を強いられていた無認可作業所の春を展望し、また、こぶし(拳や古武士)になぞらえて、強い決意・結束・団結・伝統や歴史への配慮なども大切にしたい」とのことで、素晴らしい名前だと思えます。このこぶしの会の精神は、〈ふゅーちゃー(未来)〉にも受け継がれています。

次に〈コミュニティーワークこっから〉ですが、「共同作業所」(コミュニティーワーク)と「ここから」からの造語で、当時の職員や親たちがみんなで決めました。当時

作業所は“福祉”作業所とっていましたが、きょうされんに加盟していた我々は“共同”作業所という名前を大切にしていました。これまでの作業所も新しい施設も、職員と仲間と親とその他の理解者の“働くことを重視した共同の事業”で、みんなで作りあげるという願いからです。通所者のことを「なかま」と呼んでいます。これもそのあらわれです。

また〈こっから〉はそのまま「ここから」という意味で、“ここから”スタートしようということでしたが、インパクトが弱いということで、多くの人に興味や関心を持ってもらうために、「ッ」だけを片仮名で表記し、「なぜ?」などの「受けをねらう」ことになり、名前が決まりました。この精神は、〈すたあと〉にも引き継がれ、就労移行という新しい事業の始まりを高らかに宣言しています。

住まい関係の事業所の、女性ケアホームの〈ひまわり〉や男性ケアホームの〈ぐうぐうハウス〉と短期の夕食や泊まりを提供する〈かたつむり〉は、説明の必要もないでしょう。ただ〈かたつむり〉については少し説明が必要です。かたつむりの殻はかたつむりの家ですが、この殻を作るため、かたつむりは殻の原材料を得るためにコンクリートなどの石灰質を一生懸命食べて自らの家を造っているんだそうです。

こぶしの会も自分たちの家をしっかりとつくれるような法人として発展したいものです。

# Column

# Activity support in daytime

## 日中活動支援

とうふ班

### とうふ工房USJへ行く!

日々とうふの製造・販売などで忙しく働いている、私たちとうふ工房。急に予定が変更になることもしょっちゅう。それでも「自分たちの作った商品が売れるなら!」「お給料が上がるなら!」と柔軟に対応しています。

そんな私たちの楽しみといえば、ボーナスがでると昼の給食をやめて外食へ行くことでした。ところが、去年はうれしいことに?!その時間がまったく取れず、気付けば年末が過ぎていました。なんとかしなくては…そんなとき、あるなかまからのこんな想いが!「USJにいつか行ってみたい」その言葉を聞いてからは、なんとか1日使って出かけられるようにしたい!と予定を調整し、今年の1月14日(金)にUSJへ行ってきました。

今回の企画提案をしてくれたなかまが主となり、全体を引っ張ってくれました。いろんなアトラクションをスムーズにまわることができ、キャラクターとの写真もばっちり!ちょっと怖いジェットコースターだってみんなと一緒にがんばれました。お土産もばっちり選んで、気がつくともう帰る時間が過ぎていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎていきましたが、これからも仕事をがんばるエネルギーとなりました。しんどい仕事を一緒に乗り切ってきたなかまだからこそ、そんな素敵な時間を共有できたし、次へとつながる思い出となりました。

(狩野 雅子)



## 就労移行支援

# Work support

### 新春の夢

すたあと

すたあとの裏にあるため池が凍るほどの寒さの中、新春を迎えました。

新しい年になって早々、「ゆっくりとくつろげる所が欲しい。」という仲間の要望が次々に挙がりました。今までは休憩するところも相談するところも一緒の部屋でしたが、少し間仕切りをして、お客さんや他人の目を気にせず、リラックスできる空間を切望されました。新たな具体的な要望に「過渡期だなあ」と改めて思いました。

すたあとが開所して2年が経とうとしています。新しい仲間が増え、開所当初を知る人もわずかです。楽しさや悩みや関心や話題も刻々と変化します。仕事の変化も求められます。「仲間と共にすたあとを作り続ける。」概念としてではなく、実際としてこの言葉が真の意味を発揮する年になりそうです。



#### すたあとから2つのお願い。

- ★ご不要になったソファがあればご連絡ください。小さな施設なので、サイズをお聞かせいただき検討の後、取りにうかがいます。
- ★数名のグループですたあとから企業等に出向してのお仕事を探しています。

施設清掃、繁忙期の作業請負などがありましたらご一報ください。

(島 耕治)

## マッケンジー・ソープの世界展

4月6日(水)~17日(日) 奈良県文化会館D展示室

AM9:00~PM6:00〔休館日は11日祝〕

2002年4月…、13年間の無認可共同作業所時代を経て、この東市地区という地域から「こっから」として新たに歩み出してから、来年度10年目を迎えることとなります。

こうして無事に節目の年を迎えることができますのも、本当にたくさんの方々の支えがあってこそと心から感謝申し上げます。そこでこぶしの会としては、2011年度をこれまでの10年間の積み重ねを土台に、次の10年に向け新たな目標を掲げ再スタートする1年と位置づけ、様々な事業に取り組んでいきます。

その第1弾として、4月6日(水)より、奈良県文化会館にてイギリスの画家であるマッケンジー・ソープ氏の原画展を開催いたします。こぶしの会では過去2回チャリティー絵画展を開催しましたが、今回は、それとは大きく異なる内容となっています。※詳細は同封のチラシをご覧ください。

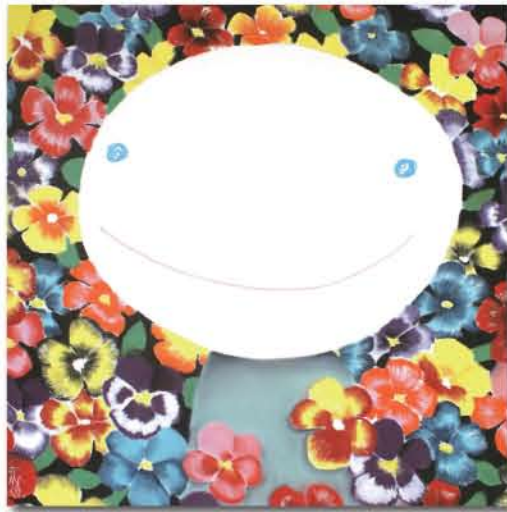
- これまでは国内外の多くの作家の作品を集めた作品展であったのに対し、今回はソープ氏単独の作品展であるということです。
- そしてソープ氏は、自らも発達障害のひとつである“ディスレクシア（難読症）”という障害を抱え、周囲の無理解による絶望を乗り越えながら美術の才能を開花させ、世界的な評価を得たという経歴の持ち主でもあります。
- そういった経過から、同じ障害を抱える子どもたちへの励ましや障害者福祉の理解と啓蒙をライフワークとしているソープ氏とともに、今回はワークショップの開催も企画しています。
- LD親の会「パンジー」さんのご協力を得ながら、15名程度の子どもたちとソープ氏が一緒に絵を描くという企画で、今からどんな作品が生まれるのか、ワクワクします。
- 関西では初めてとなる「原画展」です。ポストカードや画集、作品の販売もあります。またこぶしの会の活動を知ってもらうコーナーや販売も行います。皆様のご来場をお待ちしています。

現在こぶしの会では、この絵画展成功をめざし、チラシ配布やポスター掲示・チケット販売・会期中の受付など、ご協力いただける方を募集しています。

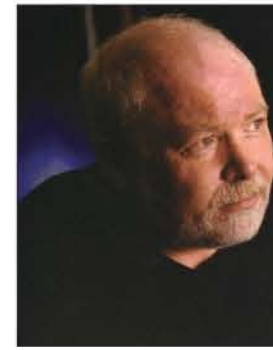
お問い合わせは、

こっから古木 (0742-63-6765) まで。

ぜひともご協力をよろしくお願いたします。



学習障害の画家 マッケンジー・ソープ氏に聞く



想像できるなら、  
実現できる



とらえ方で  
「暗」を「明」に

子どものころ、私は「顔のない人間」でした。簡単な単語さえ読み書きできず、友だちも先生さえも「怠け者」「頭が悪い」と責めました。私は自分を「駄目な存在」だと思っていたのです。

私は家でも外でも、いつも絵ばかり描いていました。貧しい労働者だった父は私がパステルで立てる「コツコツ」という音に立ち、「やめろ」と私をたたきました。もし私がサッカーに夢中だったら、ほめてくれたでしょう。絵を描いても誰もほめてくれません。逆に「変なやつだ」とばかにされました。

十五歳で働きに出ました。何の資格もない私に良い働き口はありません。仕事を転々としてきました。そのころは「私は〇〇だ」と誇れるものは一つありませんでした。本当に最悪の時期でした。

転機は二十歳のころ。友人が美術学校入学を勧めてくれました。願書はひどいものでした。スペルは間違いだらけ。論文はまったく書けません。でも絵は何千枚も描きためていました。それで無事入学できたのです。

その後も自信は持てませんでしたが、現代美術と出会い、虜になりました。そのころ、妻に出会いました。妻はこう言って励ましてくれました。「想像しなさい。想像できることは、実現できる可能性があるということ。不可能ならば想像もできないはずですよ」

私はすべての作品に「明」と「暗」の両方の意味を込めています。

例えば、ヒナギクの群落の中をダッフルコートを着た顔のない子どもが大きなハートを運んでいる絵。この子はかつての私です。誇りを持って、ありふれたヒナギクよりも小さな存在です。その子は大きな「ハート=愛」を荷車に乗せて運ぼうとしています。よく見ると荷車の車輪はスポークがありません。運ぶのは非常に困難です。でも子どもは愛を運ぼうとしています。それはとても強い意志なのです。

この世界は最も美しく、最も醜いところ。 「明」と「暗」は正反対のように見えますが、一つのもので、「明」の中に「暗」があり、「暗」の中に「明」がある。とらえ方で「暗」も「明」に変わるので。

大人のみなさん。子どもを愛してください。守ってください。導いてください。「ダメだ」「できない」と頭ごなしに責めないでください。

発達障害などさまざまな困難に苦しむ人には、私の妻の言葉を贈りたい。それは今も私の支えになっています。「想像しなさい。想像できることは実現できる可能性があるのです」(談)

2008年6月11日(水) 西日本新聞より転載

プレ絵画展

KIZUNA Café

3月1日~31日

一足早くソープさんの絵画をご紹介します。(無料)

お近くにお越しの際はどうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

住所/奈良市東向商店街内 奈良県女性センター1F

営業時間/9:30~20:00

定休日/月曜日(その日が祝日の場合は翌日)

電話/0742-26-2030

居宅支援（生活支援・在宅支援）を実施している事業所が法人内には3つあります。  
 ひとつは、利用者の方の住まいの場としてのケアホーム春日苑（ぐうぐうハウス、ひまわり）。  
 そして、ショートステイなどを提供しているかたつむり。  
 もうひとつが、ヘルパー支援や相談を実施しているふゅーちゃーです。  
 ふゅーちゃーの仕事は個別に利用者の皆様の居宅などにお伺いして行われる支援ですので、  
 普段なかなかご紹介する機会がありません。今回は一部ですがご紹介いたします。



ショッピング中。  
 カーネルおさんと  
 2ショット!

遊園地で乗り物に。



電車待ち中…。  
 もう来るかな…。



ボウリング場にて。

外出ばかりですが…。他にプールに行ったり、図書館に行ったり、映画を見に行ったり。もちろんお家での食事や入浴などのお手伝いなど。

まだまだ使いにくい点も多いですが、ヘルパー活動は多彩で、その方に応じた個別の支援です。

お問い合わせ・相談は  
 ふゅーちゃー 藤井まで。(0742-63-6504)

## きょうされん第34次

## 国会請願署名・募金運動へのご協力のお願い

障害者自立支援法は、民主党による政権交代や、「障害者自立支援法違憲訴訟」の和解を経て、その廃止が正式に決定されました。一昨年12月には首相を本部長とする障がい者制度改革推進本部が設置され、障害のある当事者や家族・専門家等によって構成される推進会議によって、新たな法制度にむけ議論が開始されました。今通常国会には、権利条約に基づく障害者基本法の抜本改正案が上程され、この後2年かけて自立支援法に代わる総合福祉法、障害を理由とする差別禁止法の国会上程が政府方針として確定しています。まさに、今後3年間の取り組みに、日本の障害者制度が「世界基準」に歴史的に転換するかどうかがかかっているといっても過言ではありません。

こういったかつてない情勢のもと、第34次国会請願署名・募金運動に取り組みます。今回の請願は、障害者権利条約の理念に合致した新法の制定を求め、小規模作業所を含むすべての事業所が、安定して運営できるようにすること、福祉施策と雇用の連結、また先進国としてふさわしい障害福祉予算の確保を求めています。

お忙しい中のご依頼で恐縮ですが、署名と募金にご協力いただきますようよろしくお願い致します。

### 記

1. 郵送いただいた場合は、郵送代を後日切手でお返しさせていただきます。
2. 署名は国会に提出する目的以外に使用する事はありません。大事にお預かりして、5月26日(木)に奈良県選出の国会議員に直接手渡します。募金は、国会請願行動の交通費をはじめ、署名運動の経費等として有効につかわせていただきます。
3. 集約期日 第1次締め切り 3月末日  
 最終締め切り 4月末日

# 奈良教育大学生生活協同組合 購買書籍部

ならきょういくだいがくせいかつきょうどうくみあい こうばいしょせきぶ



住 所／奈良市高畑町 奈良教育大学内  
こっから商品の販売日時／毎週金曜日  
11時30分～17時  
ホームページ／<http://narakyo.u-coop.net/>

今回ご紹介する「こっからの商品が買えるお店」は、奈良教育大学の構内にある生活共同組合購買部さんです。

作業所時代から（20年も前）ご協力下さっている大学の先生のご紹介で、生協さんからも「地域の施設との連携を」と快く受け入れていただき実現したこの企画。

なかなか一般のお客さまにご利用してもらう機会はありませんが毎週金曜日に、店内の一角をこっからコーナーとして、食パンと菓子パン、豆乳クッキー等を販売させていただいております。

お店の方のお話によると、学生さんには「フレンチトースト」が大人気で注文数がどんどん増えています。職員さんは、食パンを楽しみにいただいている方が多く、「土曜日の朝食でおいしく食べています」との嬉しい感想をいただきました。

クッキーも「安くておいしい!!」と好評で、追加注文が間に合わないほどです。

帰り際、お客様からの「カレーパン美味しかったから今度また持ってきてね」とのリクエストに笑顔でこたえる仲間たちでした。

※28号でご紹介した「さくら倶楽部（大和郡山市）」での販売は、昨年12月で終了いたしました。

「この土地はいい顔をしていますね…」

今号の表紙は2001年の10月から5ヶ月をかけて何もなかった空き地に「こっから」が建ちあがっていく経過です。

## 編集後記

法人設立に向けた話し合いが始まったのが、ちょうどその3年前。たくさんの候補地を見学に行く中で、この土地とめぐり合いました。県道に面し田んぼに囲まれた、少し小高い雑草だらけの空き地から、生駒の山々へと青いあおい空が広がっていた光景が今も鮮明に蘇ります。

冒頭の言葉は、みんなで下見をしたときの、施設の設計をお願いしていた方の第一声。

その一言が、こっからのスタートでした。

FURUKI

## サロンドセレクション

\*喫茶コーナーオープン!  
ランチやケーキをご用意して  
お待ちしております。

3月20日  
開催!

\*お楽しみ輪投げコーナー

\*春物衣料品の大特売!

\*風水開運文字サロン

\*パワーストーンアクセサリー

\*野菜の朝市 等 お楽しみ下さい。

# なかま自治会



1/14 (金) 15 (土) の二日間、京都テルサで行われた第3回のきょうされん利用者学習交流会にこっからを代表して松野浩子さんと石川久さん、奈良支部の利用者部会準備会を代表して小山富士夫さんが参加しました。

今回の学習交流会は「新しい制度はどうやってできていく? みんなが主役わたしたちの声を届けよう」というテーマで1日目は“みんなでわいわい学ぼう”という3部構成の学習会でした。全国の利用者部会の方たちが中心となって制度のことや自立支援法のどういったところがおかしかったのかを勉強したり、きょうされんの西村理事長による「今何がたいせつか?」という講義を聞きました。滋賀や兵庫の3つの事業所からのレポート報告もありました。その後の質疑応答ではフロアから自立支援法に対して困っていることや、自分たちの思い・要望、国会議員が要望や抗議を全くもって無視をする。といった怒りの意見や、新法をつくるにあたっての不安などの意見が沢山あがりました。

2日目は6つの分散会にわかれ、私たちのグループではこっからの自治会でどんなことをしているかのレポート報告をしました。それを元に他都道府県の18人の利用者の方たちが気軽な感じで意見交換をしました。その後、各分散会よりまとめの報告があり、みんなで利用者部会のかたが作詞した365歩のマーチの替え歌(自立支援法やめてver.)をうたい最後に「おー!」っと気持ちを一つにして閉会になりました。他の施設の仲間たちがどんな風にきょうされん運動にとりくんでいるのかを知る機会がなかなかないので、こういった仲間たち同士での意見交換の場は大変貴重だなあと感じました。3人とも真剣な表情で、時折笑顔も見せながら多くの人ののはなしを聞いておられました。

奈良支部利用者部会・こっから仲間自治会の参考になれば……来年以降も是非たくさんの仲間には参加してほしいと思います。(竹田 悦子)

## ニュースフラッシュ



クリスマス会



初詣



節分



おもちつき



成人式



雪が...

こちらも  
ご覧下さい

<http://kokkara.jp/>

- ・こっからネットショップ
- ・こっから活動ブログ
- ・こっからニュースブログもお楽しみ下さい。